

金沢大学 理工研究域 物質化学系 有機化学分野 教員公募

(女性限定)

1. 公 募 人 員：テニユア・トラック助教（女性） 1名
2. 所 属：理工研究域 物質化学系 <https://www.se.kanazawa-u.ac.jp/chemistry/>
3. 専 門 分 野：有機化学分野。新しい有機化学反応の開発または機能性有機化合物の合成。
着任後は、研究課題グループ「ハイブリッド分子創成化学研究グループ」に所属し、精密有機合成化学研究室内の教員と協力して、教育および研究に活動して頂きます。（精密有機合成化学研究室内には前多肇教授が在籍）
4. 教 育 担 当：理工学域 物質化学類
大学院自然科学研究科博士前期課程 物質化学専攻（※審査により博士後期課程担当の可能性有）
5. 担 当 科 目：学類および大学院の専門分野の実験・演習・研究指導等と共通教育科目および専門基礎科目など。（英語による授業を担当していただく場合があります）
6. 勤 務 形 態：テニユア・トラック助教（常勤，任期5年）
テニユア付与の可否については、任期満了前の所定の時期に研究・教育実績に関する学内審査を行います。学内審査の結果に応じて、任期満了後に、テニユア准教授への昇任又はテニユア助教への移行が可能です。
テニユア審査において、テニユア・トラック期間を延長することが認められた場合（最長3年間）は、延長後の期間の最終年次に再度審査を実施します。
本学テニユア・トラック制度の規定については、下記URLをご覧ください。
<https://www.se.kanazawa-u.ac.jp/wp-content/uploads/2022/12/tenure.pdf>
※テニユア付与基準の概略
(1) 国内外で、分野における研究成果が特に優れていると認められること
(2) 適正に計画された研究計画が達成されていること
(3) 十分な競争的研究資金などを獲得していること
(4) 学生に対する教育成果（研究指導および講義内容）が優れていると認められること
7. 待 遇：研究経費として初年度80万円程度を措置する予定
8. 給 与：年俸制が適用されます。
9. 応 募 資 格：着任時に博士の学位を有する女性研究者。
日本語と英語による十分なコミュニケーション能力を有する方。
研究、教育に熱意を有し、産学連携等への積極性があること。
※「男女雇用機会均等法」第8条（女性労働者に係る措置に関する特例）の規定により、女性教員の割合が相当程度少ない現状を積極的に改善するための経過措置として女性に限定した公募を実施します。

10. 着 任 時 期： 2026年 4月 1日以降のできる限り早い時期

11. 提 出 書 類：

- (1) 履歴書（写真添付，電子メールアドレスも記入のこと）
- (2) 研究業績目録（査読付き原著論文，著書，総説・解説，国際会議録，特許，その他）
- (3) 主要論文5編以内の別刷（コピー可）
- (4) これまでの研究概要（800字程度）
- (5) 今後の研究計画と教育に対する抱負（800字程度）
- (6) 受賞および招待講演などの特記事項，実務実績，競争的研究資金の獲得状況など
- (7) 推薦書 1 通（理工研究域物質化学系長宛）または照会可能な方 1 名の氏名・所属・本人の連絡先（電話番号，電子メールアドレスを含むこと）

上記項目(1), (2), (4), (5), (6) は，下記URLに掲載されている「個人調書」に記入の上，応募してください。

応募に関する個人情報，本件の選考以外の目的には一切使用しません。

<https://www.se.kanazawa-u.ac.jp/researcher/koubo.html>

12. 応 募 締 切： 2025年 10月 10日必着

13. 選 考 方 法： 第一次審査：書類審査

第二次審査：面接（プレゼンテーション，英語での模擬研究発表等）

（面接のための旅費支給はありません）

14. 書類提出先：〒920-1192 石川県金沢市角間町

金沢大学 理工研究域物質化学系長 教授 片岡 邦重

15. 問 合 せ 先：

金沢大学 理工学域物質化学類 応用化学コース長 教授 前田 勝浩

電話:076-234-4783, E-mail: maeda@se.kanazawa-u.ac.jp

16. そ の 他：

- (1) 応募書類は，封筒表面に「応用化学コース・有機化学分野教員応募書類」と朱書きの上，簡易書留にて郵送してください。なお，応募書類は原則として返却しません。

- (2) 就業規則に関する規程については，下記URLをご覧ください。

<https://www.kanazawa-u.ac.jp/university/administration/regulation/rules>

- (3) 金沢大学では，教員の英語による教授能力の向上と，英語による開講科目の増設等を前提とした英語教育に取り組んでいます。下記URLをご覧ください。

<https://www.kanazawa-u.ac.jp/sgu/kusgu/project.html>

- (4) 金沢大学では男女共同参画を推進しています。詳しくは下記URLをご覧ください。

<https://ipdi.w3.kanazawa-u.ac.jp/>